

第4回 豊橋市市民協働推進審議会 議事録

日時	平成29年12月19日(火) 14:00~16:00
場所	豊橋市役所 86会議室(東館8階)
報告者	中村 志織
出席者	別紙のとおり(2名欠席)
傍聴者	1名

1 開会

2 副会長あいさつ

- 欠席者 鄭智允委員(会長)、井口芽友可委員
- 議事録署名者 長井菊野委員、渡邊洋子委員

3 議題

(1) 市民協働推進計画の推進に向けた取り組みについて

ア 若者向け補助制度の創設に向けて(資料1、2)

※事務局が資料に沿って説明

副会長：ただいまの事務局からの説明を受け、応募要領(案)にある「応募の対象者」「補助金額」「選考方法」「募集・事業実施スケジュール」について意見交換を行いたい。

【応募の対象者】

委員：「30歳未満であること」とあるが、どういった理由からか。

事務局：豊橋市では、「若者」という言葉の定義はないが、「とよはし子ども・若者育成プラン」で、子ども・若者の範囲をおおむね30歳未満と定めているため基準を合わせた。

委員：根拠になるため30歳未満の設定は良いと思う。

委員：他自治体で例の少ない「学生限定」の補助制度にしてみてもどうだろうか。上手くいけば、そこから対象者を広げていくという考えもある。

事務局：前回の審議会で学生以外の若者もいるという意見があり、応募要領(案)では学生に限定しないようにした。

委員：広く若者を対象とするべく、応募要領(案)のとおりが良い。

副会長：応募要領(案)のとおりという意見が多いため、(案)のとおりとする。

【補助金額】

委員：前回の審議会の中で様々な意見が出たが、これまでの予算額を考慮すると、この額が適切だと思う。

委員：前は、この補助制度が使ってみようと思える対象となるか議論になった。今回はつつじ補助金よりも多く、一定の配慮はされている。

副会長：応募要領（案）のとおりとする。

【選考方法】

委員：一度応募した団体は翌年度も応募できるのか。

事務局：今回の案は、平成30年度に試行的に行うものと考えている。その後も実施する場合、応募対象の条件をクリアしていれば翌年度も応募できる制度にしてはどうかと考えている。

委員：試行的に行うのであれば、審査項目の「継続性」は必要なく「発展性」の方が良い。八戸市は、発展性が審査項目に入っている。発展性とは、ある団体が行う取り組みが他団体、他地域に影響を与えるものかどうかを指す。

委員：審査時に、何を見て「発展性」を評価すればよいのか分からない。未実施のものに発展性の評価をつけるのは難しい。

委員：一度の事業で効果が出る場合もあるが、公金を使うので、今後も続けて取り組んでもらえる事業を評価したい。継続性は審査項目にあって良い。

副会長：審査に、公開プレゼンテーションを必要とするかどうかについても意見を聞きたい。

委員：書類だけでは、分からないことも多い。プレゼンテーションはあった方が良い。

事務局：現在の市民協働推進補助金の「くすのき」と同等にした場合、全ての応募団体がプレゼンテーションを行うことになる。応募件数が見込めないため、一次審査を書類審査、二次審査を公開プレゼンテーションとすることはどうか。

委員：応募多数による審査に不安を感じることはなく、審議会としては全ての応募に対して公開プレゼンテーションをしてもらってもよいのではないか。

委員：公開プレゼンテーションの発表時間については、応募要領に記載しない方が良い。

委員：応募数が見込めないため、件数に応じて対応できる形とした方がよいのではないか。

副会長：「継続性」については、応募要領（案）のとおりとし、書類審査をした上で対象を決め、公開プレゼンテーションを実施するように修正してもらいたい。

【スケジュール】

事務局：学生の試験期間を考慮してスケジュールを決めていきたい。また、平成30年度に試行的に実施する場合、市民協働推進補助金の後期募集をとりやめ、若者向け補助制度に力を入れたいとも考えている。

委員：学校で試験等のスケジュールを確認したうえで、スケジュールを組んでもらえば、事務局で検討して良い。

【その他】

委員：どのように制度を周知していくのか。

委員：市内の学校、新聞社などにもアプローチをしてもらいたい。

委員：応募要領（案）を見ると、対象経費が分かりにくい。

事務局：公表する応募要領は、全体的に分かりやすく手に取ってもらえるものを考えている。

委員：団体概要書の活動目的・内容は事業計画書の内容と重複すると思う。

事務局：団体概要書は、団体の通常の活動内容・目的を記入し、事業計画書には、補助金を使用して行いたい事業内容を記入してもらいたい。中には、同じ内容になる団体もあるかもしれないが使用目的は違うものである。

イ 若者向け補助制度以外の取り組みについて（資料3）

※提言項目の実施スケジュールについて説明。

市全体に関わる「市民協働の理解の促進」については、事務局で先行し進めていくことを了承。

事務局：自治会OBの委員から、「地域課題を洗い出す取り組みの推進」に係る取り組みについて、自分たちの経験等を糧に話し合いたいという意見があった。

今後、審議会で審議いただく「素案」について、3名の委員からの意見も踏まえ、事務局で作っていきたい。

副会長：このことについて、委員から意見はあるか（意見なし）。

4 その他

(1) 平成29年度市民協働推進補助事業 実施状況報告（資料4）

・6事業（つつじ：3、くすのき：3事業）の活動の様子を報告

(2) 第5回審議会

・次回は2月を予定（詳細な日時は後日調整）

(3) 平成30年度 市民協働推進補助金 審査について（資料5）

・資料に沿って説明

(4) 委員より情報提供（資料6）

・蔵ら（静岡県賀茂郡）の活動について

5 閉会

平成30年	月	日
議事録署名者		
長井 菊野		㊟
渡邊 洋子		㊟

第4回豊橋市市民協働推進審議会出席者名簿

(五十音順・敬省略)

NO	氏名	選任区分
1	おおたに よりこ 大谷 代里子	公募
2	おおにし ゆきひろ 大西 志拓	豊橋創造大学から推薦 (学生)
3	おのだ としお 小野田 敏夫	公募
4	たかもり ひでき 高森 英樹	市民センター指定管理者から推薦 (特定非営利活動法人ビリーブ)
5	つちだ きよと 土田 清人	豊橋市社会福祉協議会から推薦 (豊橋市社会福祉協議会職員)
6	ながい きくの 長井 菊野	豊橋技術科学大学から推薦 (学生)
7	はやし のぶお 林 信雄	豊橋市自治連合会から推薦 (豊橋市自治連合会理事)
8	わたなべ ようこ 渡邊 洋子	豊橋商工会議所から推薦 (豊橋商工会議所女性会会長)

※任期：平成29年5月10日～平成31年5月9日

《事務局》

市民協創部

市民協働推進課 課長 河合 幸子
 主幹 小久保 雅司
 課長補佐 夏目 直美
 主査 大竹 祐輔
 主査 大漣 伸一
 主事 中村 志織
 主事 上田 響子